

時評 持続可能な未来への両利きの組織術

..... 東洋エンジニアリング 富永賢一 57

座談会 多様な働き方—副業・兼業— 58

WORK LABO 社労士事務所 三浦真由美,
 三井化学 片寄雄介, シリヨサク 豊間根青地,
 サイボウズ 中村龍太, エンファクトリー 加藤健太

化石燃料技術と農業における CO₂ 有効利用

..... キヤノングローバル戦略研究所 堅田元喜 73

化石燃料由来の CO₂ は、農作物の収量を増加させる。この CO₂ 施肥効果により、世界各地の収量と緑地面積は増加した。農作物を中心に据えた IT・エネルギー・プラントなどの技術を統合することで、便益を最大化できる。

「天然水素産業」の可能性と現在地点

..... エネルギー・金属鉱物資源機構 小杉安由美・末廣能史 80

脱炭素化の流れの中で、低コスト・低炭素集約が期待される天然水素（ホワイト水素）への注目が高まっている。生成のプロセスや海外の最新動向を紹介し、その商業化への可能性を左右する要因について検討した。

カーボンニュートラル実現に向けた潤滑油の取り組み

..... ENEOS 田川一生 89

近年、天然資源の枯渇は深刻な問題である。また、持続的な発展を達成するためには、資源制約・環境制約は解決すべき必須の課題である。潤滑油に焦点を絞り、世界の現状やリサイクルの可能性の検討結果について説明した。

SOEC メタネーション技術による e-methane の海外再エネキャリア、CN 燃料としての可能性

..... 大阪ガス 大西久男 97

水と CO₂ を原料として e-methane を低コストで製造できる革新的な SOEC メタネーション技術の概要、大阪ガスの取り組み、海外の再エネ輸入キャリアとしての優位性、e-methane 発電の意義と可能性を紹介した。

PETROTECH FEB. 2025 VOL.48 NO.2

本誌の内容・企画に関してご意見・ご要望を E-mail (book@sekiyu-gakkai.or.jp) でお寄せください。

事故事例から学ぶ木質バイオマスの安全なハンドリング

..... 東海国立大学機構名古屋大学 成瀬一郎 104

木質バイオマス燃料では、チップにおいては発酵発熱火災、ペレットに関しては発酵発熱火災とともに粉塵爆発事故が複数発生している。それらの災害の内容と事故原因ならびに再発防止策について紹介した。

Petroleum Engineer の取り組む技術トレンド 2024

..... エネルギー・金属鉱物資源機構 伊原 賢 111

2024年9月下旬に米国のニューオーリンズで開催された2024年SPEのATCEに参加し、最新の石油工学に触れる機会を得た。得られた情報を基に Petroleum Engineer が取り組む技術トレンドを探った。

◆ 目次裏統計 ◆	世界における石油・ガスの探鉱活動 目次裏
◆ エネルギー知ってるはず!? ◆	(121) ガソリンスタンドと EV 充電スタンド 71
◆ 私の宝物自慢 ◆	猫や子どもの写真と動画 72
◆ 最近始めたこと ◆	ゴルフ 78
◆ 先輩から後輩へのメッセージ ◆	 前澤峰雪 79
◆ 私事白書 ◆	30歳までにやりたいこと 日揮ユニバーサル 平野 瞭 88
◆ 讃嘆石油史! ◆	ブレント、シェル 沙外白雲 96
◆ JPIJS だより ◆	JPIJS 協賛 第15回触媒科学研究発表会参加報告 大阪大学 平澤綾大 117
学会の窓	 118
会告	 卷末